

2023年春開業予定  
北陸新幹線小松駅  
駅舎デザイン決定

ふるさとの  
伝統を



『ターミナルへ  
未来へつなぐ』

問い合わせ  
まちデザイン課 ☎24・8099

デザインイメージ  
慣れ親しんだ白山の雄大な山並みと  
未来を感じるターミナル

北陸新幹線金沢・敦賀間開業まで、あと4年。線路の高架橋や駅周辺の工事が進む中、現在のJR小松駅に併設して誕生する「北陸新幹線小松駅」の駅舎デザインが決まりました。

デザインは、基本コンセプトである「ふるさとの伝統を未来へつなぐ『ターミナル』」を基に、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が3案を作成。検討会や市民アンケートなどを通して1案に絞り、市が要望した付帯意見も踏まえて決定されました。

外観は、雪をまとった霊峰白山の山並みを表現し、立体的・多面的に構成したデザインで、小松の歴史と未来の融合をイメージ。内装は、壁に観音下石や滝ヶ原石、柱に九谷焼が使用されるなど「小松らしさ」が感じられるほか、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮しており、市民の皆さんからのご意見が反映されています。

デザインが決定し、2023年春の開業に向けて駅周辺の整備はさらに加速していきます。南加賀地域の拠点としてますます進化するまちの未来を、皆さんで創造していきましょう。

Concourse  
コンコース

小松の伝統工芸品や、県産木材・日華石といった地場産材を取り入れ、「小松らしさ」を感じられる空間としています。



Platform  
ホーム

白山の山並みから切り取ったガラス面は、東側に見える白山の眺望を最大限に引き出しています。

新幹線が通るまちの未来を創造しよう

3月に開催された「NOMI∞KOMATSU未来をひらく。Railwayフォーラム2019」で、これから新幹線時代を迎えるふるさとに向けたメッセージをいただきました。

新幹線開業で、県外からの受験生も増えると思います。公立小松大学が多様な価値観であふれるような大学になることを願っています。

◀公立小松大学 国際文化交流学部2年  
(左)中川桃李さん、(右)野原夢奈さん

少林寺拳法の全国大会に出場するため、様々な都市に行くことがあります。新幹線が小松に来れば、アクセスが更に便利になるので楽しみです。

◀九谷毛筆細字4代目  
田村星都さん

▶少林寺拳法石川根上スポーツ少年団  
小松工業高校少林寺拳法部1年  
(左)日光駿太さん、(右)土本拓実さん



九谷焼は南加賀地域の伝統工芸として360年以上の歴史があります。開業に向け、今まで以上に魅力的な作品づくりに励み、全国に九谷焼を発信したいです。

